町田則文（まちだのりふみ）　教育家。安政二年十一月二十五日常陸國土浦生れ、昭和四年十二月二十二日没（一八五八―一九二九）。藩黌等に學んだのち、明治七年上京、十一年東京師範學校中學師範科卒。愛媛縣師範學校校長、埼玉縣師範學校校長を經て、二十五年高等師範學校教授に任じ附屬小學校主事を兼務。二十九年臺灣總督府民政局事務官となり、總督府國語學校校長として新版圖の教育事業に盡力。三十二年女子高等師範學校教授に轉じ、更に四十二年東京盲學校創設に際し校長就任。爾來殁年の退官に至るまで盲人教育改良に努めた。

著書に、アレキサンテル、ベーン原著『彌爾言行錄』（明治二十二年二月十九日開發社）。町田則文先生頌德事業會編『町田則文先生傳』（昭和九年刊）がある。